

ナラティブ・メディスンから考えよう！対人支援

GRACE研修会 GRACEワークショップ開催

標記研修会について下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。地域の先生方および他職種の皆様の多くのご参加をお願いします。なお、参加される場合は誠にお手数ですが、8月2日（金）までに裏面の用紙をFAXにて返信くださるようお願いいたします。

日時 令和元年 **8月17日（土）** 10時00分～17時00分

場所 福井赤十字病院 栄養管理棟 3階講堂

受講料 500円（食事代）

講師 東京都立駒込病院 緩和ケア科/NPO法人マギーズ東京

心理療法士 栗原幸江 先生

【講師紹介】



1994年、コロンビア大学大学院修士課程卒業。ニューヨーク州認定臨床ソーシャルワーカー。マウント・サイナイ医療センター勤務を経て、1995年より終末期緩和医療専門病院カルバリー・ホスピタルに勤務。ニューヨーク州認定マッサージセラピストの資格取得。2002年、静岡がんセンター開設に伴い帰国。心理療法士として、がんの診断時から遺族ケアにいたる「患者と家族のこころのつらさ」の緩和とスタッフのメンタルサポート及び教育に携わる。2012年よりがん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科にも所属し、緩和ケア病棟のプログラム充実に尽力されている。2016年10月より認定NPO法人 マギーズ東京のヒューマンサポートチーム 心理士を兼任。

研修内容

裏面でご紹介

【研修内容】

臨床の現場において、ケアに携わるスタッフが燃え尽きることなく「その場に求められるケアが提供できる」ためには、どのようなバランスや姿勢、視点が求められるでしょうか。

GRACEプログラムは、コンパッション（慈悲心・思いやり）に根差したケアのあり方を育むために構築された3日間のトレーニングです。米国でも問題になっている医療者の燃え尽きへの対処、そして思いやりと熟慮のある温かな医療を育むための基盤づくりを意図して、米国の医療人類学者/禅僧のジョアン・ハリファックス老師により開発されました。

今回の1日ワークショップでは、この3日間のGRACEプログラムを1日分に凝縮し、参加者の方々に実際に体験していただきたいと思います。GRACEの各種ワークを通じて、ケアに携わる人の「準備」をていねいに調えることに焦点をあてます。参加者同士、ワークを分かち合うことが、それぞれのセルフケアにつながる体験となれば幸いです。

お問合せ：福井赤十字病院 がん診療センター 中西 TEL:0776-36-3630（代表） 内線：4824

F A X送付状

福井赤十字病院 がん診療センター

（地域医療連携課）

FAX:0776-36-0240

※ご参加の場合のみ、誠に勝手ながら8月2日（金）までにご回答くださいますようお願い

申し上げます。令和元年8月17日（土）開催の地域がん診療研修会に

参加します。

施 設 名 _____

ご 氏 名 _____ (職種 _____)

ご 氏 名 _____ (職種 _____)

ご 氏 名 _____ (職種 _____)